

発行 日本音楽療法学会

理事長 日野原重明 副理事長 村井 靖児

事務局 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-20-8 浜松町一丁目ビル 6階 TEL 03(5777)6220 FAX 03(5401)0337



学会のこの2年間を振り返って

常任理事 加藤 美知子

会員の皆様、学会による音楽療法の普及と発展への取り組みは、ゆっくりではありますが着実に進展しています。本稿では、この2年間の学会の動きを確認するとともに、私自身が体験したことも交えながら、これからの音楽療法についての考えを述べてみたいと思います。

一人ひとりの音楽療法士が、音楽療法サービスを個々の対象者に運ぶ「車」であるとすれば、音楽療法士と対象者をつなぐ道路にあたるのが「国家資格」でしょう。音楽療法を必要とする全ての人たちに等しくそのサービスを提供するためには、国家資格という道路整備が絶対に必要です。一昨年の札幌の総会で、福祉職としての国家資格化に向けて進んでいくことが正式に承認され、国家資格推進委員会を中心に、その実現に向けての努力が続けられております。

各委員会も、地道にその活動を積み重ねつつあります。その成果の一つが音楽療法士のための業務保険であり、あるいは以前よりもずっと分かりやすくなった資格認定と資格更新の規則申請書（マニュアル）です。また去る3月には初めてのアジア音楽療法シンポジウムが、東京で開催されました。

新しい委員会として、スーパービジョン検討特別委員会と新認定制度検討特別委員会が設置されました（それぞれ暫定委員会、本文記事参照）。前者は、わが国ではまだ一般的でないスーパービジョンのあり方について検討していくものです。臨床家としての成長のためのスーパービジョンについての議論が深められていくことを期待しています。

さて、資格認定に関しては、暫定措置終了の決定に基づいて、今年10月に現行制度での最後の書類審査が行われます。この書類審査の段階で不合格となった人は、新認定制度を目指すこととなりますが、今年の面接で不合格になった人は、来年再び書類審査を経て、面接をパスすれば認定資格を取得することができます。もちろん、学会認定の音楽療法士（補）受験資格認定校（以下認定校）の音楽療法コースを卒業した人、海外で専門教育を受けた人に対しては、これまで通りの資格審査が続けられていきます。

現在検討中であることをすでにお知らせした新認定制度は、資格をまだ取得されていない会員の方にとって一番の関心事

だと思われます。新しい制度がどのようなものになるべきかと議論すべき点は非常に多く、新認定制度検討特別委員会では、色々なお立場の方からのご意見を取り入れながらの熱い会議が重ねられています。会員の皆様からの声も直接お聞きするべきだということになり、新認定制度について会員アンケートの実施と四国大会での討論会の開催が、3月の理事会で決定されました。

私事ですが、ここ3年にわたり、岐阜県音楽療法研究所で「事例の書き方」講座を担当しました。岐阜は全国に先駆けて県が音楽療法の事業と取り組んだ地で、同研究所の積極的な活動で、県内の各地域に音楽療法が浸透しつつあります。今春には職能団体の「ぎふ音楽療法協会」（NPO法人）が発足しました。その中核を担っているのは、中年から上の年代の女性達です。講座や彼女達の発表を通して、地域で地味ながら粘り強く研修と実践を続け、着実に力をつけてきている様子を見ると、その土地に固有の言葉や文化、生活習慣を生かした実践が、岐阜県以外の地域でも根付くようになっていけばどんなに素晴らしいことかと思えます。各支部を中心として、音楽療法の基本を見据えながら、身近な対象者のニーズにそった実践を深めるための小さなグループがたくさん作られていくことが望まれます。学会も、そうした地道な営みを励ましていくことに取り組む必要があるのではないのでしょうか。

本稿の冒頭で、音楽療法士を「車」に喩えました。高度の専門的な教育を受けた高性能スポーツカーに匹敵する音楽療法士も必要ですが、一方で隣の町や村に日々のサービスを届ける自転車や軽ワゴンのような身近な音楽療法士もまた不可欠です。最先端医療に取り組むエリート医師も、地域医療に邁進する家庭医も、ともに必要であるのと同様です。

音楽療法の仕事に関わりたくと望む人たちが、着実に知識と力をつけた上で資格を取得し、よりよい臨床が行えるような、系統だった研修ができるシステムの必要性を強く感じています。そのような制度を整えるための車輪が動き出しました。もちろん国家資格の実現を目指しての運動も続けていきます。

必要とする全ての人たちに、一刻も早く、音楽療法がくまなく届けられるような社会になることを目指して、一緒に進んでまいりましょう。それを実現するためのアイデアを、皆様どうぞお寄せください。

第9回日本音楽療法学会学術大会（松山）へのいざない

大会長 板東 浩

若葉が美しく爽やかな季節となりました。会員の皆さまにおかれましては、いかにお過ごしでしょうか。

さて、9月11～13日に松山市で行われる第9回日本音楽療法学会学術大会が次第に近づいて参りました。四国支部の実行委員会および関係者一同は、皆様方をおもてなしさせていただくいろいろな準備を続けてきています。これからのスケジュールは、皆様からの発表のご応募をお受けする時期となりました。

今大会・講習会は、西日本で最大規模のホールとして知られる松山市のひめぎんホール（愛媛県民文化会館）で開催されます。メインホールの収容人数は3,000人で、ロビーや他の会場のスペースにも余裕があります。

そのため、できるだけ多くの会員にポスター発表をしていただけるように、いろいろと調節しているところです。是非とも、この機会に、ご自分の経験をまとめてチャレンジしてみてください。

◇ ◇ ◇

大会の1日目には、講習会が開催されます。新生児から高齢者まで、精神や心理、緩和ケア、脳神経、評価、基本的心構えなど、バラエティに富む20枠を企画しました。いずれのレクチャーも、錚々たる先生がわかりやすく担当して下さいます。自分だけで勉強するのと比較して格段に身に付きまますので、研修を深めてください。

この中に非常に興味深く面白い企画を4枠準備しました。「アニマルセラピーの実践現場から」（アニマルセラピー協会）、「最新の医学～旅行医学～」(日本旅行医学会)、「笑いと健康を考える」(落語家)、「医療が変わる～エンパワメントとコラボレーション～」(医療福祉センター)という魅力溢れる内容となっております。

毎回、講習会への申込は早い時期に満員となります。今回も例年以上に混雑が予想されますので、ご希望の枠を選び、早期に申し込んでいただくようお願い申し上げます。

◇ ◇ ◇

2、3日目は、大会テーマ「音楽療法の源流を求めて」～音のゆらぎ 心のゆらぎ～に沿って、基調講演（日野原重明理事長）や特別講演（池辺晋一郎東京音楽大学教授）、大会長講演が行われます。

さらに、実践的なワークショップとして、「音楽療法活動

の実際と分析」、「音楽療法におけるオリジナル楽曲の創作と使用」、「キーボード伴奏の基礎を見直す」、「実践に役立つ音楽のヒント集、体験編」の4枠が予定されています。体験型の充実したワークショップで、臨床現場で実際に役立つヒントやコツを体得してください。

さらに、自主シンポジウムの企画募集も行っておりますので、ふるってご応募ください。

◇ ◇ ◇

音楽療法が近年注目されてきている一因として、世界的に、補完代替医療（Complementary and Alternative Medicine, CAM）や統合医療（Integrated Medicine, IM）が広く認知されつつあることが挙げられます。用語の意味合いについて、補完医療とは現行の医療に何らかの因子を足してQOLを高める医療を、代替医療とは通常医療の代わりに用いられる医療を、そして、統合医療とは西洋医学による医療と代替医療をあわせた医療を意味しているのです。

これらの領域で、音楽療法（Music Therapy）は重要なポジションを占めてきました。将来の傾向として、複数のセラピーの併用が試行されてきています。たとえば、アロマセラピーや温浴療法などが挙げられましょう。

ちょうど、本大会は松山で開催され、宿泊するホテルは「道後温泉」一帯の地域です。音楽や温泉を楽しみ、音楽療法と温浴療法で心身ともに元気になってください。それでは、松山でお目にかかりましょう。

（9月11日講習会、12・13日学術大会）



道後温泉本館の木版画

（愛媛県美術会版画部常任評議員 高橋 基（松山市）作）

新認定制度についてのお知らせ

理 事 会

会員の皆様には、2008年6月末日付け文書にて、2010年度をもって暫定期間が終了し、以後学会認定の音楽療法士の資格は、学会が音楽療法士養成校として認定した大学・専門学校などを卒業して学会認定音楽療法士（補）の資格を取得した人及び海外で資格を取得した人が、規定の臨床実績後に資格取得のための面接試験に合格することにより取得することになることをお知らせいたしました。

また2008年10月発行の学会ニュース第16号にて、従来実施してきた認定制度に代わり新認定制度の制定が理事会で決定されたこと、及び以下2点などについてお知らせいたしました。

1. 新認定制度の開始予定は、2011年4月とする。
 2. 新認定制度は、音楽療法士の質の更なる向上を図ることを第一の目的とする。
- * 現行のポイント制の形式が継続される予定であり、現行制度で取得したポイントは新認定制度でも有効です。また新たに学会指定の必須講習会受講などの必要条件が加わる見通しです。

新認定制度検討特別委員会では、その後も鋭意検討を重ねておりますが、新たに決定された3点をここにお知らせいたします。

1. 新認定制度の開始時期について

当初の予定では、新制度の申請開始予定を2011年4月としておりましたが、新制度の内容などの検討に十分な時間を費やす必要があるため、開始はもう少し先になる見込みです。開始時期が決まり次第お知らせいたします。

2. 新認定制度検討のためのアンケート実施について

新認定制度に関する会員の皆様のご希望を伺うために、アンケートを実施することになりました。実施は、2009年7月頃の予定です。

ご協力をよろしく願いたします。

3. 新認定制度討論会の開催について

新認定制度の内容などについて、会員の皆様のご意見を伺うために、今年9月に四国で開催される第9回日本音楽療法学会学術大会において「新認定制度討論会」が開催されることとなりました。詳細は同大会第3次案内をご覧ください。

会員の皆様には、それまでに検討されている新認定制度の内容などについて事前にお知らせいたします。

多くの会員のご参加と活発なご意見をいただけますようお願いいたします。

以上

スーパービジョンについてのお知らせ

スーパービジョン検討特別委員会

委員長 郡司 正樹

スーパービジョンは臨床家として成長していくために必要不可欠な研修のひとつです。

本学会では、更新申請時に、スーパービジョンの報告を任意にしておりましたが、これまでスーパービジョンの目的や意義、あるいはスーパーバイザー（指導者）の立場に立つ人がどういったビジョンを展開していくべきか等、更新規則検討委員会で話し合いを進めてきましたが、具体的なガイドラインを示すまでには至りませんでした。そこで昨年の10月、特別更新規則検討委員会の諮問機関としてスーパービジョン検討委員会を立ち上げ、11月の理事会で8名のメンバーからなるスーパービジョン検討特別委員会が正式に承認

されました。これまで2回ほど会議が開催され、今後の方向性として以下の3点が挙げられました。まず1点はスーパービジョンに関する研修会を定期的で開催すること、2点目は将来的に会員向けのガイドラインの作成にあたること、3点目は更新申請におけるスーパービジョン報告書の申請内容等の改定を検討することです。また、将来的には学会として、スーパーバイザーの認定制度も考えていかなければならないという意見も出されています。

今年度は9月の四国大会において当委員会主催のシンポジウムを企画する予定でおりますので、ぜひご参加いただきたいと思います。

■ 日本音楽療法学会プロジェクト研究について ■

学術・研究委員会

本学会は、音楽療法に関わる学術研究の振興を目的に、2002年度よりプロジェクト研究の公募・助成を行ってきました。つきましては、審査基準および申請にさいしての留意事項についてお知らせします。

1) 審査基準

プロジェクト研究は、音楽療法について優れた研究を蓄積し社会的認知を得ることを目的としています。したがって、質の高い研究であるか否かを審査し適当と考えられた研究に助成金を交付し、その研究成果を公表していただくことになっています。

審査基準は、研究題名・研究の意義・内容・対象と方法・準備状況・倫理的配慮・研究歴および業績・研究経費の8項目について3段階評価、さらに総合判断として5段階評価を行います。審査委員の総合判断の3点（普通）以上の研究を審査対象とし、前述の8項目について検討し、無条件採択あるいは条件付採択を決めるという手順を踏んでいます。

不採択研究の申請者には、評価点（平均値）と審査員からのコメントをつけて結果を連絡しています。

2) 申請にあたっての注意事項

- ① 同じ研究者が複数年応募されることがありますが、委員会で2年連続して採択された場合は助成金を半額とし、3年以上の連続は採択しないことになっています。これは、なるべく多くの研究者に助成するという趣旨によります。
- ② 申請者および研究協力者全員が本学会員であることが必要です。
- ③ 研究成果は、本学会における研究報告および学会誌上の論文発表が義務付けられています。論文は、編集委員会の論文審査を経てから原著論文として掲載されます。

なお、第30回理事会において、「特別プロジェクト研究」の実施が決まりました。これは、多施設の共同研究として、福祉モデルの中で音楽療法の効果の評価（エビデンス）を臨床的な立場から科学的に具体的に検証するものです。数年をかけての研究となり、特別予算を計上して行われます。今後、国家資格推進委員会と連携しながら、実施案を検討する予定です。



■ 2009年度日本音楽療法学会プロジェクト研究の募集 ■

学術・研究委員会

下記の要領で2009年度のプロジェクト研究の募集を行います。

つきましては、これまでの障害、疾病、予防医学、健康増進など医療福祉領域のみならず、音楽学、社会学、文化人類学、哲学、美学など文化研究領域における研究についても積極的な応募をお待ちしています。採択された研究には助成金が交付されます。

1) 応募締切：2009年7月31日

2) 研究領域

- ① 量的研究など実証的研究領域
- ② 質的研究および社会学・哲学・美学などの文化的研究領域
- ③ その他

3) 応募方法

所定の研究計画書を事務局に申請し、必要事項を記入のうえ提出してください。

なお、助成金は一研究につき上限100万円とし、会計報告を必要とします。

4) 審査方法

学術・研究委員会において審査し、理事会で採否を決定します。

5) 研究報告

採択された研究は、2011年度大会で最終報告をして頂きます（中間報告は行いません）。

さらに、2011年度中に本学会誌へ、原著論文として投稿することが義務付けられます。

6) 留意事項

- ① 研究遂行にあたっては、科学的実証性を重視し、かつ本学会の倫理綱領を遵守してください。
- ② 申請者および研究協力者の全員が正会員であることが必要です。
- ③ 同一の申請者が同時に2件申請することはできません。
- ④ 多くの研究者に助成したいので、同一の研究者が2年連続して採択される場合は助成金を半額とし、3年連続は採択されません。
- ⑤ 研究計画書にコピー3部を添えて提出してください。

<申請・応募先>

* 研究計画書様式は、日本音楽療法学会事務局までFAXまたは電話にてご請求ください。

■ 日本音楽療法学会 音楽療法士（補）試験実施要項（抜粋） ■

わが国においては1997年に全日本音楽療法連盟の資格認定制度が開始されました。当時、音楽療法士養成課程を有する学校はきわめて少数であり、当然ながら試験制度は採択されませんでした。代わりに、現在にいたるまで臨床的経験を重視した暫定的な処置による音楽療法士認定がなされてきた経緯があります。

しかし同連盟は暫定的な認定制度と並行して1996年に大学や専門学校での教育へのガイドラインとして音楽療法士養成カリキュラム96を制定しています（現在は改定されたカリキュラム01が制定されています）。その後、幾つかの大学、専門学校などにおいてこのガイドラインを基本にした音楽療法士養成コースが設置され、近年になりそれらのコースの卒業生が誕生するようになりました。

これらの卒業生は学会が定めたカリキュラムに基づいて教育訓練を受けた者であり、これらの教育を受けていない者と

は異なる基準で資格認定が行なわれなくてはならないはずす。

以上の経緯により、学会により教育カリキュラムの審査を受け承認された大学や専門学校の音楽療法コースの卒業生を対象に音楽療法士（補）認定試験が2001年度より実施されることとなりました。

この試験は各受験者の音楽療法に関する全般的な知識を指定カリキュラムに基づき広い範囲にわたり尋ねるもので、受験生の基本的な知識と能力、また音楽療法士としての適正を確かめる目的で行なわれます。

この試験に合格した者は日本音楽療法学会認定音楽療法士（補）の資格を得ることができます。この資格は、本人の音楽療法活動の臨床経験が3年をこえる時点で改めて学会に申請すれば（臨床事例報告審査と面接を経て）正式に音楽療法士として認定されます。

1. 試験の日時および会場：《2009年度は→2010年1月17日、日本教育会館》
2. 試験科目：音楽療法科目を中心に、カリキュラムガイドライン01に含まれる教科全般。
3. 受験資格：本学会から教育カリキュラムの審査を受け承認された大学ならびに専門学校等の音楽療法コースの卒業生および見込生。
4. 受験手続：
 - (ア) 学会事務局への受験申請を行う。なお記入に際しては戸籍に記載されている氏名を使用する。
 - (イ) 事前に受験手数料1万円を日本音楽療法学会に振り込む。
 - (ウ) 申請には以下を同封して、日本音楽療法学会へ送付する。
 - ① 受験申請書（該当の教育機関に学会より送付します）。
 - ② 単位取得証明書 および取得中の単位については 単位取得見込み証明書 などそれを証明する書類、なお、専門学校にあっては高等学校卒業後における各種教育機関における単位取得証明書を添付しなければならない。
 - ③ 既卒者は卒業証明書（卒業見込みの者は下記9を参照）。
 - ④ 受験票送付用の 返信用封筒（長形3号サイズ、自分の宛先を記入して、80円切手を貼付する）。
 - ⑤ 受験手数料振込控 のコピー。
 - (エ) 受験時には受験票と本人の写真の付いた証明書（学生証、運転免許証など）を持参する。
5. 試験はマークシートを用いて多岐選択形式で合計150問（試験時間は合計2時間30分）。
受験票、筆記用具（HB鉛筆数本と消しゴム）および時計のみ会場の卓上に置くことができる。
6. その他、試験時に特別な援助などの必要がある場合は事前に事務局に申し出てください。また当日欠席などによる返金はいたしません。
7. 受験申込期間 《2009年11月16日（月）～11月30日（月）までに学会事務局へ必着》
8. 合格者の発表 《2010年2月初旬（審査結果は受験者本人に文書にて通知）》
9. 合格者のうち、卒業見込みの者は卒業後、卒業証明書を当学会事務局へ送付してください。（既卒者は不要）。送付してきた者について当学会音楽療法士（補）の資格証明書を発行します。（既卒者には合格発表と同時に発行します）。この証明書は、正規の当学会音楽療法士の資格認定申請時に必要となります。

— ※ — ※ — ※ — ※ — ※ — ※ — ※ — ※ — ※ —

■ 2008年度受験資格認定校一覧 ■

都府県名	学校名	都府県名	学校名	都府県名	学校名
長崎県	活水女子大学	愛知県	名古屋芸術大学	岐阜県	中部学院大学
愛知県	金城学院大学	埼玉県	東京国際音楽療法専門学院	宮崎県	宮崎学園短期大学
埼玉県	東邦音楽大学	東京都	東京心理音楽療法福祉専門学校	東京都	多摩リハビリテーション学院
東京都	日本大学芸術学部	埼玉県	東京音楽療法専門学校	東京都	国立音楽大学
神奈川県	昭和音楽大学	愛知県	名古屋音楽大学	京都府	同志社女子大学
神奈川県	洗足学園音楽大学	茨城県	茨城音楽専門学校	群馬県	創造学園大学
神奈川県	東海大学	兵庫県	武庫川女子大学	東京都	日本福祉教育専門学校
千葉県	聖徳大学	長野県	長野医療衛生専門学校	熊本県	平成音楽大学
岡山県	くらしき作陽大学	大阪府	相愛大学		

アジア音楽療法シンポジウム in Japan 2009を終えて

国際交流委員会

委員長 佐治 順子

去る3月8日(日)午後12時45分から約3時間半、アジア23か国中5カ国のパネリストが、東京のツ橋教育会館ホールに集合し、「アジアにおける音楽療法実践と教育の現状と課題」について、興味ある報告と討論がくり広げられました。このシンポジウムは、国際交流委員会が企画した国際活動の一つですが、学会本部主催の2008年度研修・講習会2日目の午後に組み込まれて開催されたことから、研修・講習委員長 加藤美知子先生に、シンポジウムの司会をお願いしました。会場内からの質問にもお答えしながら無事予定の時間内で終了することができました。

今回のシンポジウムのパネリストは、南西アジア地域から、インドのスマティ・スングール氏、東南アジア地域から、タイのブッサコーン・サムロントーン氏とシンガポールのパツィ・タン氏、東アジア地域から、韓国のチョン・ヒョン・ジュ氏と、中国のティアン・ガオ氏(ガオ氏は都合により資料のみの参加)、そして日本の佐治順子の6名でした。各パネリストは、アメリカや英国で音楽療法を学んだ後、現在自国で音

楽療法の実践・指導を行っていますが、最終的に各パネリストは、自国の風土や伝統に基づいた、より有効な音楽療法実践を確立しようと考えていることが確認されました。是非仮称「アジア音楽療法連盟」を発足して、定期的に話し合う機会を持つべきである、などの前向きな意見も出されました。

音楽療法教育に関しては、まだ専門の音楽療法コースが設置されていない国やガイドラインがまだ作成されていない国々がありました。しかし韓国では、1大学以外は全て大学院(修士課程)で音楽療法教育を行っています。さらに資格認定制度もあり、音楽療法士として常勤する施設もあることが報告されたことから、日本と類似した発達状況にあると考えられます。

今回は、各パネリストに海外で音楽療法士の認定資格を取得した若い日本音楽療法学会正会員に、講習会配布資料の英文和訳も含めて、シンポジウムのお世話係をマンツーマンで担っていただきました。ボランティアでご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。



全体討論会



後列左から、佐治順子氏(日本)
チョン・ヒョン・ジュ氏(韓国)
前列左から、パツィ・タン氏(シンガポール)
スマティ・スングール氏(インド)
ブッサコーン・サムロントーン氏(タイ)

■ 支部情報（大会・講習会、総会などのお知らせ） ■

§ 北海道支部

【事務局】〒064-0916 北海道札幌市中央区南16条西7丁目1-7-406 札幌心身医療研究所内
TEL & FAX 011-520-2605

2009年度支部総会ならびに第15回研修会

開催日時：2009年5月24日（日）10：00～16：00

開催場所：北海道札幌市中央区北3条西4丁目1 日本生命札幌ビル5F 北海道医療大学サテライトキャンパス講堂

内 容：教育講演：「高齢者の運動生理学」（仮） 武田秀勝氏（札幌医科大学）など

問合せ先：上記事務局

§ 東北支部

【事務局】〒020-0063 岩手県盛岡市材木町2-20 近文商店2階
FAX 019-651-7838 E-mail jmta-tohoku@festa.ocn.ne.jp

1. 第9回支部学術大会

開催日時：2009年6月27日（土）～6月28日（日）

開催場所：1日目 仙台市福祉プラザ

2日目 ショーケー本館ビル（仙台市福祉プラザ隣）

大会テーマ：「音楽療法の原点Ⅱ」～音楽における「音」を再考する～

講 師：基調講演講師 遠山文吉氏、講習会講師 羽石英里氏、根岸由香氏

問合せ先：大会専用電話 090-2843-4405

2. 2009年度支部総会

開催日時：2009年6月27日（土）16：45～17：45

開催場所：仙台市福祉プラザ

§ 関東支部

【事務局】〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 聖徳大学音楽学部 郡司研究室内
FAX 047-365-1145 支部ホームページ <http://www.jmta-kanto.jp/>

第8回支部講習会・地方大会

大会テーマ：「観る心・よりそう心」

開催日時：2009年12月5日（土）、6日（日）

開催場所：東邦音楽大学 川越キャンパス（埼玉県川越市）

問合せ先：上記事務局

§ 信越・北陸支部

【事務局】〒950-2003 新潟県新潟市西区東青山1-11-17
TEL & FAX 025-231-9283 E-mail cobaman@nifty.com

第7回支部学術大会

大会テーマ：「心と身体を響かせるー音楽は道先案内」

開催日時：2009年5月30日（土）～5月31日（日）

開催場所：加賀市アピオンシティホール（石川県加賀市作見町25-1）

大会長：宮本啓子

内 容：5月30日（土）講演会・懇親会

5月31日（日）研究会・支部総会・講習会

問合せ先：〒922-0554 石川県加賀市橋立町ふ23 第7回信越・北陸支部学術大会事務局 大会事務局長 吉田茂樹

TEL & FAX 0761-75-2917 E-mail isikawamt@yahoo.co.jp

※役員改選に伴い、以下の役員体制になりましたのでお知らせします。

支部長 海老原 直邦、副支部長 西巻 靖和、幹事・教育委員長 前田 登志枝、幹事・事務局長 小林 和子

幹事 宮本 啓子、宮川 深雪、室川 裕子、丹保 博美、松田 美穂、野尻 恵美子

§ 東海支部

【事務局】〒453-8540 愛知県名古屋市中村区稲葉町7-1 名古屋音楽大学 音楽学部 音楽学科音楽療法専攻 栗林研究室
TEL 052-411-1115（代） FAX 052-413-2300（代）

1. 支部役員選挙

期 日：2009年秋

役 員 数：20名（県別選出及び全域選出にて）

2010年4月より、新役員体制に移行します。

2. 支部大会総会（予定）

開催日時：2010年4月上旬

開催場所：静岡県内にて

§ 近畿支部

【事務局】〒561-8555 大阪府豊中市庄内幸町1-1-8 大阪音楽大学内
TEL & FAX 072-763-0305 E-mail jmtak@guitar.ocn.ne.jp

2009年度支部講習会・総会

開催日時：2010年3月27日（土）

開催場所：和歌山大学

問合せ先：近畿支部ホームページ（<http://www.jmtak.com/>）から

§ 中国支部

【事務局】〒731-0295 広島県広島市安佐北区可部東1-2-1 広島文教女子大学 木村敦子研究室内
TEL & FAX 082-814-3161 E-mail jmta-cc@h-bunkyo.ac.jp
URL：<http://www.h-bunkyo.ac.jp/jmta-cc/>

第9回支部大会・第14回講習会

開催日時：2009年5月30日（土）・31日（日）

開催場所：広島文教女子大学（広島市安佐北区）

内 容：講習会 講師 蛭江紀雄氏 伊藤孝子氏 甲谷 至氏

支部大会 教育講演 柏木哲夫氏、対談 柏木哲夫氏・蛭江紀雄氏、研究発表

第15回講習会

開催日時：2009年11月予定

開催場所：未定

問合せ先：中国支部ホームページから

§ 四国支部

【事務局】〒762-0082 香川県丸亀市飯山町川原1847-4 三崎耳鼻科クリニック内
TEL & FAX 0877-98-7696

9月11、12、13日、第9回日本音楽療法学会学術大会が松山で開催されます。

今年度、四国支部では支部大会を行いません。

§ 九州・沖縄支部

【事務局】〒807-0846 福岡県北九州市八幡西区里中3-12-12 八幡厚生病院内
TEL 093-691-3344 FAX 093-603-7213

2009年度講習会

開催日時：2009年7月5日（日）10：00～16：00

プログラム：音楽学と音楽療法（10：00～12：00）

即興演奏について（13：00～16：00）

講 師：若尾裕先生（神戸大学大学院 人間発達環境学研究科教授）

開催場所：崇城大学市民ホール大会議室（旧：熊本市市民会館）

2009年度支部大会

開催日時：2010年2月予定

開催場所：未定

問合せ先：上記事務局



■ 学会誌投稿規定の一部変更について ■

編集委員会

3. ① 原著論文は、図表を含めてA4の用紙に40字×30行10枚以内を20枚以内と変更します。

その他の投稿規定は近く改訂の予定です。決定次第、ホームページや学会ニュースでお知らせします。

学会事務局からのお知らせ

■ 第10回日本音楽療法学会学術大会開催決定のお知らせ

- 日 時：2010年9月24日（金）・25日（土）・26日（日）
- 会 場：神戸国際会議場、ポートピアホテル（予定）（兵庫県神戸市）
- 大会長：益子務、実行委員長：大前哲彦、副実行委員長：鈴木暁子、事務局長：山田由紀子
- 大会テーマ：未定
- * 大会案内は順次お知らせします。

■ 2009年度研修・講習会開催のお知らせ

- 日 時：2010年3月6日（土）・7日（日）
- 会 場：日本教育会館一ツ橋ホール（東京都千代田区）
- * 詳細は次号でお知らせします。

■ 2009年度資格審査、資格更新審査のお知らせ

資格審査

- 第14回の資格審査のための申請受付期間は、2009年10月1日～10月15日です。
 - * 15日（木）必着
- 必ず日本音楽療法学会版の申請書（認定規則）を取り寄せて申請してください。
 - * 申請書（認定規則）の取り寄せ方法
500円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「認定規則請求」として事務局へお申し込みください。（会員のみが配布対象です）なお、返信用封筒は不要です。
 - * 書類審査結果は11月下旬に通知します。書類審査合格者には面接試験（実技を含む、12月12日（土）・12月13日（日）・12月19日（土）・12月20日（日）のいずれか1日、会場は東京）の案内が同封されます。なお、受験者数により面接日は短縮される可能性があります。
- 救済措置を希望される方も、資格申請受付期間中に救済措置の申請をおこなってください。

資格更新審査

- 今回は第4回および第9回認定者が対象となります。
- 第9回の資格更新審査のための申請受付期間は、2009年10月16日～10月30日です。
 - * 30日（金）必着
- 対象となっておられる方は事務局よりお送りしました申請書類（資格更新規則／同細則の日本音楽療法学会版）にて申請してください。また、申請書（資格更新規則／同細則）を紛失された方は上記、認定規則と同じ方法で「更新規則請求」としてお取り寄せください。
- 猶予を申請される方も上記の受付期間に申請してください。

いずれの最終審査結果も2010年2月初旬に通知されます。

また、証明書類は現物とコピーの提出となっておりますのでご注意ください。現物は返却しますので、必要な切手を貼り宛先を書いた封筒（A4サイズ）を同送してください。切手の額については重量によって異なりますので郵便局にてご確認ください。なお、簡易書留郵便にて返却しますので通常料金に300円加算して切手を貼付してください。

■ 会費（年会費）納入のお願い

2009年度新年度が始まりました。年会費は別便にてお送りしました専用の振替用紙にて早めにお納めいただきますようお願いいたします。

正会員	10,000円	学生会員	6,000円
購読会員	6,000円	賛助会員	50,000円／1口

振込先 郵便振替口座 ○加入者名：日本音楽療法学会
○口座番号：00120-9-657711

■ カリキュラムガイドライン01の取り寄せについて

「カリキュラムガイドライン01請求」として事務局へお申し込みください。

■ 第8回認定音楽療法士（補）試験問題解説集の発行について

2001年に発表された「カリキュラムガイドライン'01」適用の音楽療法コース卒業生を対象に、2009年1月18日、第8回の認定試験を実施しました。この試験問題の解答と解説集が発行されます。（2009年7月頃予定）昨年度（2009年1月18日）の受験者の方には事務局からお送りしますが、それ以外の方で入手希望の方は以下に沿ってお申し込みください。1冊1,000円です。（送付は7月以降）

また、2001年度第1回から2005年度第5回までの5回分の音楽療法士（補）試験問題解説集を1冊にまとめた合冊版が発行されています。合冊版は1冊で3,000円です。なお、従来通り第1回から第7回まで、年度別の音楽療法士（補）試験問題解説集もそれぞれ発行されています。年度別の試験問題解説集は1冊1,000円です。

購入を希望される方は希望の試験問題解説集の年度と冊数（合冊版を希望の場合はその旨）を明記の上で、冊数分の合計金額の郵便為替（郵便局にて購入）を同封して、学会事務局へお申し込みください。為替は金額に応じて、1,000円の定額為替を必要枚数購入されても、合計金額の額面で普通為替を1枚購入されても、どちらでも結構です。なお、返信用封筒は不要です。

■ 「抄録の書き方」のご購入について

研修・講習委員会編纂による「抄録の書き方（わかりやすい学会発表をするために）」が発行されています。（B5版76ページ、2006年8月23日発行）購入を希望される方は1,000円の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、「抄録の書き方請求」として学会事務局へお申し込みください。なお、返信用封筒は不要です。

■ 学会誌バックナンバーのご購入について

日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌のバックナンバー購入につきましては学会事務局では取り扱っておりませんので下記へお問い合わせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 アカデミア・ミュージック株式会社
TEL：03-3813-6751 FAX：03-3818-4634

■ 事務局への各種お届けについて

現在学生会員の方で教育機関を卒業された方は、正会員への会員区分の変更が必要です。事務局まで区分変更の届出をお願いします。正会員から学生会員へ変更を希望される場合も事務局へ届け出てください。（学生証のコピー添付）

また、市町村の合併により住所に変更があった会員の方も、事務局まで住所変更を届け出てください。

■ 音楽療法士求人情報提供のお願い

音楽療法士の求人情報を学会ホームページに掲載することになりました。有償のものに限定しますが、求人情報を事務局へお寄せください。

これは情報を提供するだけのもので、就職の斡旋をするものではありません。

■ 「団体総合補償保険」について

（学会ニュース16号16ページ参照）

年度途中からの加入もできますので、ご希望の方は次の取扱代理店へご連絡ください。

（有）セントラルインシュアランスコンサルティング

〒210-0001 神奈川県川崎市川崎区本町1丁目8-3-101

TEL 044-200-9421